

東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
URL:https://www.t-namakyo.jp/  
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

【第50回 通常総会】

日時：5月25日(月)  
12時30分～  
場所：第一ホテル東京

(5月)

11日(月) 理事会(No. 1259)  
25日(月) 通常総会(第50回)  
理事会(No. 1260)

(6月)

8日(月) 理事会(No. 1261)  
22日(月) 理事会(No. 1262)

(7月)

13日(月) 理事会(No. 1263)  
27日(月) 理事会(No. 1264)



## 2025年度出荷実績と2026年度の展望

### -- 3年連続の前年割れ(85.8%)の 出荷 --

東京協組の2025年度の出荷実績は、次のとおりとなりました。

通期の出荷数量は、前年比 85.8%の 217 万 m<sup>3</sup>と、昨年出荷量 253 万 m<sup>3</sup>を大幅に下回る結果となりました。また、年初出荷想定 270 万 m<sup>3</sup>に対し 53 万 m<sup>3</sup>の大幅未達となりました。これは、働き方改革による現場での生コンクリート打設時間の制限、週休二日制による打設日数の減少、並びに異常気象による大雨・猛暑の影響が起因していると考えられます。さらに、都心部での再開発工事や新規工事で工程通り進捗していないことも要因といえます。しかしながら、単月で見ると3月度は稼働日が昨年より2日少なく、7日も雨天であったにも関わらず出荷実績は 192 千 m<sup>3</sup>の前年比 100.8%と 20 ヶ月ぶりの前年超となりました。

### -- 2026 年度の需要展望 --

2026 年度の需要想定は、上期は前年比 113.9%の 125.5 万 m<sup>3</sup>、下期は前年比 116.3%の 124.5 万 m<sup>3</sup>、年度計は前年比 115.1%の 250.0 万 m<sup>3</sup>を想定しています。大幅に遅れていた日本橋・八重洲地区及び内幸町2工区の再開発工事については、これから最盛期となる見込みです。また、期間契約(R契

約番号) 物件の出荷は堅調であり、契約後、直ぐに出荷となる案件が多々見受けられます。3月末の契約残数量は 413.8 千 m<sup>3</sup>の前年比 103.3%となりました。その中には大型物件が多く含まれており、ゴールデンウィーク明けにはこれらの生コン出荷が始まる見込みとなっています。

ただ、都心部中心に特殊コンクリート需要の大波が押し寄せる見込みであり、工程の遅延、出荷予定の変更やキャンセルが頻発すると、特殊コンクリートのみならず、すべてのコンクリートの安定供給に支障をきたすこととなります。需要家様及び登録販売店様には、予定精度のさらなる向上をお願いいたします。

2027年4月1日から、3,000+α円/m<sup>3</sup>の値上げを表明しています。特にα分については、今般の世界情勢の影響もさけられず、自助努力では吸収できない状況となることも想定されます。現在、検討を進めていますが、早期終息に至らない場合は、大きな額となることも想定されます。販売価格の大幅な改定については、抵抗が少なくありません。生コン産業が持続的な発展をしていくために必須であることから、需要家様にご理解を得られるよう登録販売店様と連携し丁寧な説明をまいります。

2025 年度実績と 2026 年度想定

	2025 年度実績		2026 年度想定	
	数量 (m <sup>3</sup> )	前年比 (%)	数量 (m <sup>3</sup> )	前年比 (%)
上期	1,101,498	83.8	1,255,000	113.9
下期	1,070,657	88.0	1,245,000	116.3
年度計	2,172,155	85.8	2,500,000	115.1

## 新任理事ご挨拶

畑中 みづき



この度、当協組の理事に就任いたしました、関東宇部コンクリート工業株式会社の畑中 みづきと申します。どうぞよろしくご挨拶申し上げます。

私は 2006 年に宇部興産株式会社(現・UBE 株式会社)に入社し、建設資材カンパニーに配属されました。当時私自身は化学メーカーという認識で就職活動を行っていましたが、北海道に住む祖父が近所で「宇部」の名前が付いている生コン工場を目にしていたこともあり、セメント・生コン事業を展開する会社として知っていたため、採用が決まって喜ばれたことを覚えています。

私の経歴としましては、グループ会社に関わる業務に携わることが多く、グループ会社全体の予算管理業務からスタートし、その後は生コン会社を中心に個社の経営支援業務を担当しました。国内のみならず、中国江蘇省南通市にある生コン会社の運営に長く関わったことも自分にとって良い経験となっています。また、直近ではマグネシア・カルシア関連製品メーカーである宇部マテリアルズ株式会社に出向し、初めての販売業務も経験しました。

少しプライベートのお話をさせていただきますと、学生時代に吹奏楽やオーケストラで楽器の演奏をしていたこともあり、音楽が好きです(社会人になってからは聴く専門ですが)。邦楽・洋楽問わず様々なジャンルを聴きますし、好きなアーティストのライブがあれば観に行きます。最近では朝ドラの主題歌を担当していたハンバート・ハンバートのライブに行きました。ちなみに、学生時代から好きでよく聴いていたこともあり、彼らが今年の紅白歌合戦に出場した際には、感慨深いものがありました。

最後になりますが、今回理事として当協組の運営に参画させていただくこととなり、その責任の重さを真摯に受け止め、微力ながらも協組の発展と円滑な運営に尽力してまいります。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(関東宇部コンクリート工業(株) 取締役)

	(出荷数量)				(引合、成約、契残)	
	4月(実績)		5月(想定)		4月(実績)	
	数量	前年比	数量	前年実績比	数量	前年比
大型	162,715 m <sup>3</sup>	90.8%	150,000 m <sup>3</sup>	89.5%	引合 124,249 m <sup>3</sup>	87.6%
小型	26,533 m <sup>3</sup>	119.2%	20,000 m <sup>3</sup>	97.5%	成約 108,519 m <sup>3</sup>	85.8%
計	189,248 m <sup>3</sup>	93.9%	170,000 m <sup>3</sup>	90.3%	契残 4,084,717 m <sup>3</sup>	103.0%

## 残コン・戻りコン及び出荷予定キャンセル発生状況について

当協組は昨年4月1日以降スライド価格改定を実施し、付帯事項として発生量の削減を目的とした残コン・戻りコンの取消料の改定、及び出荷予定キャンセルの適用期間とキャンセル料の改定を実施しておりますが、改定実施後1年経過しておりますので、以下のとおり2025年度における発生状況の推移をご報告いたします。

### 【改定実施内容】

#### 1. 残コン・戻りコン取消料

「製品代+取消料 35,000 円/㎡(従前は 10,000 円/㎡)」

産業廃棄物処理の受入れ制限や処理費の高騰に対応する為の発生抑止力の効果発揮を主眼として、従前の取消料の大幅な引上げを実施。

#### 2. 出荷予定キャンセル適用期間・キャンセル料

「出荷予定キャンセルの場合の料金(50㎡未満は対象外)」

単位: 円/件

出荷予定数量	① 1営業日前・金額(前日・当日)	② 2営業日前・金額(前々日以降・2日前)
50㎡以上~100㎡未満	200,000	100,000
100㎡以上~200㎡未満	300,000	150,000
200㎡以上~300㎡未満	500,000	250,000
300㎡以上~400㎡未満	700,000	350,000
400㎡以上~500㎡未満	900,000	450,000
500㎡以上~700㎡未満	1,100,000	550,000
700㎡以上~900㎡未満	1,500,000	750,000
900㎡以上~1,000㎡未満	1,800,000	900,000
1,000㎡以上	問い合わせ	問い合わせ

従前のキャンセル料金の改定の他、キャンセル適用期間を従前の「前日の午後」から「2日前」に変更実施。

#### 2. 出荷予定キャンセル (件数・数量)

単位: 件、㎡

時期	区分	2日前	前日	当日	当日数量減	合計
第1四半期	件数	30	7	17	11	65
	数量	4,628	839	2,032	1,783	9,282
第2四半期	件数	40	12	17	12	81
	数量	5,566	1,376	2,066	1,645	10,653
第3四半期	件数	33	7	7	10	57
	数量	4,136	1,062	1,278	1,421	7,897
第4四半期	件数	15	9	9	10	43
	数量	2,124	1,036	1,127	1,836	6,123
年度通期計	件数	118	35	50	43	246
	数量	16,454	4,313	6,503	6,685	33,955

### 【2025年度の発生状況】

#### 1. 残コン・戻りコン (発生率)

単位: %

月度	2024年度			2025年度		
	残コン	戻りコン	計	残コン	戻りコン	計
4月度	2.6	0.9	3.5	2.2	0.7	2.9
5月度	2.8	0.9	3.7	2.2	0.7	2.9
6月度	2.7	1.0	3.7	2.3	0.9	3.2
7月度	2.7	1.0	3.7	2.4	0.9	3.3
8月度	2.6	1.0	3.6	2.4	1.0	3.4
9月度	2.5	1.1	3.6	2.5	0.9	3.4
10月度	2.6	1.0	3.6	2.2	0.5	2.7
11月度	2.6	0.9	3.5	1.9	0.6	2.5
12月度	2.5	0.9	3.4	1.9	0.5	2.4
1月度	2.4	0.8	3.2	1.9	0.5	2.4
2月度	2.5	0.8	3.3	1.9	0.6	2.5
3月度	2.5	0.8	3.3	1.8	0.5	2.3
通期計	2.6	0.9	3.5	2.1	0.7	2.8

残コン・戻りコン合計の発生率は、2022年度~2024年度の間は3.5%前後で推移しておりましたが、2025年度は特に年度の後半から低下傾向にあり、発生率の面では一定の効果が得られているものの、産業廃棄物処理は受入れ制限が更に求められていることから、引き続き発生削減に努め、関係各方面にご協力をお願いする次第であります。

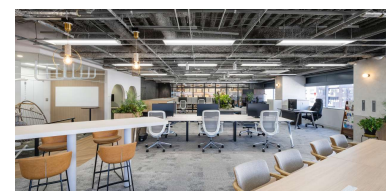
件数・数量ともに年度の後半は減少傾向にあるものの、2026年度以降は、特殊コンクリート(軽量、超高強度、低炭素)の需要の大幅な増加により、対応可能な工場が限定されることから、普通コンクリートを含め従前にも増して出荷予定精度の向上が不可避になる為、引き続き出荷予定キャンセルの削減に努めて参ります。

### わが社のじまん話

吉田建材は昭和25年に創業し、おかげさまで現在76年目を迎えることができました。創業者である吉田久蔵は、日本が敗戦の混乱期から高度経済成長へと向かう中、東京を中心に生コンクリートの製造・販売を主力事業として歩みを重ねてまいりました。長年にわたり積み重ねてきた歴史と実績は、私たちの大きな誇りです。

そんな当社のじまんの一つが、製造から販売までを一体で行う体制です。お客様の声にしっかり耳を傾け、研究・開発から製造、そしてお届けまでを一貫して行うことで、スピーディかつ高品質な製品づくりを実現しています。この仕組みこそが、長年にわたり選ばれ続けてきた理由のひとつです。

また、働く環境づくりにも力を入れています。働き方改革の一環として本社オフィスをリニューアルし、「変革と創造が生まれる空



### 理事交代のお知らせ

2026年3月31日をもって一ツ木副理事長(株東京菱光コンクリート)が退任し、2026年4月13日に開催された臨時総会にて新たに畑中理事(関東宇部コンクリート工業株)が就任、同日の理事会にて副理事長に藤嶽理事(株東京菱光コンクリート)が選定されました。

	日付	役職	氏名	所属
退任	3月31日	副理事長	一ツ木 正	株東京菱光コンクリート
就任	4月13日	副理事長	藤嶽 暢成	株東京菱光コンクリート
		理事	畑中 みづき	関東宇部コンクリート工業株

### 吉田建材株式会社



間」をテーマにした職場へと生まれ変わりました。社員同士のコミュニケーションが活発になり、業務の改善や効率化にもつながっています。さらに、このオフィスをきっかけに入社を決めた新しい仲間も増えています。

そしてもう一つのじまんが、社員の健康を大切にしていることです。全社一丸となって取り組んできた結果、2026年には健康経営優良法人(中小規模法人部門)の認定をいただきました。健康診断の受診促進やウォーキングイベントの実施に加え、サバイバルゲームやバーベキューなど、社員やご家族も楽しめる行事を行っています。

これからも吉田建材は、「人」を大切にしながら、社員一人ひとりが安心していきいきと働ける環境づくりを進め、確かな品質と技術で社会に貢献してまいります。